

おおむた自慢

海について共に学ぼう

みなと小・天領小・天の原小・駿馬小の子どもたち

本市ではE S D(持続可能な開発のための教育)に取り組む中、海洋教育を通じて海と人との共生を目指し、「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を活用する」をテーマに4校の児童が学んでいます。SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」を核にして東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターのご指導をいただき、みなと小・天領小・天の原小・駿馬小の4校が連携して取り組んでいます。そこで、今回は各学校の取組の状況をご紹介します。

みなと小 有明海干潟体験



みなと小の3年生は、有明海の干潟の生き物の観察を通して有明海の生き物への関心を高め、様々な海の生き物の生態を調べることで、環境に適応しながら生きている生き物の多様性を学んでいます。

天領小 カヌー体験学習



天領小の4年生は、諏訪川でカヌー体験をしました。身近な川で楽しむ活動を通して、自然を大切にすることや海につながる川の環境を守ることの大切さに気づきました。

今後、川や海の環境問題や生き物について学習を深めていきます。

天の原小 野間川的环境調査



天の原小の5年生は、有明海に注ぐ諏訪川支流の野間川の水質や生き物を調べて、川的环境変化が自分たちの生活と深く関わることに気づきました。

また、川が海に与える影響を調べ、海的环境を守るため自分たちにできることを森・川・海のつながりや私たちの生活の視点から考え、実践しています。

駿馬小 有明海の干潟について知ろう



駿馬小の3年生は、「海を知る」という学習内容でネイチャーガイドをお迎えし、有明海の干潟の成り立ちや役割、住む生き物について話を聞きました。

この後、実際に干潟へ行って干潟の様子や生き物を観察しました。

編集後記

今年度で10回目となる議会報告会は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮し市内6会場で各校区の代表の皆様3名の出席をお願いしての開催となりました。コロナ禍という逆境ではありますが、令和2年7月豪雨の復旧・復興を進めるためにも、議会報告会でいただいたご意見を生かして、ワンチーム～大牟田の一員として、まちづくりに取り組んでまいります。(M)

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】三宅智加子 【副委員長】島野知洋

【委員】森竜子 山田修司 平山光子 崎山恵子

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社江崎印刷所